

# 2020 年卒業報告

18 期生

## 電気電子専攻でいずれは博士課程も目指したい

### 大学院へ進学した男性

卒業した大学の大学院工学研究科電気電子専攻に進学することになりました。現在は学会発表などに向け研究活動を励むとともに、卒業研究をこれから行う3年生の指導などを行っています。

大学生活はとても有意義に過ごすことができ、1年次にはライトパワープロジェクトという大学での活動に参加し、友人たちと協力し何かを成し遂げる喜びを覚えました。2年次からは自分が福祉関係に何か還元できないかと考え、学習ボランティアを始め、母子支援施設に行き勉強を教えるようになりました。教える側になったことから改めて自分が様々な人の協力によって生きてきたという実感を得られ、支援しようとする人の温かさを感じました。3年次からは専門的な勉強が増え、研究活動に興味を持ち始め大学院進学を考え始めました。もともと研究者になりたいという夢もあり、研究者になるためには大学院の進学が必要だと考え、進学を決めました。4年次では研究活動に励み自分で主体的に研究を進めることの難しさを痛感しましたが、それ以上に新たな発見を見つけた瞬間や、自分の考えた結果通りになった時の達成感などから改めて研究がしたいと思いました。研究活動を励んだかいもあってか合同の研究発表会での発表や、ポスター発表などにも参加することができました。

今後は研究職を目指すべく大学院修了後は就職をし、社会人を数年経験したら博士課程を取得したいと考えています。

## 卒論制作、楽しさと苦しさを経験

### 欧州留学を目指す女性

先日、卒業式が執り行われ、無事に大学を卒業しました。卒業式とはいっても、コロナウイルス対策の影響で、代表の学生と学長を始めとした数人の教員だけが参加して、多くの学生はYouTube 配信を見るというものではありませんでした。味気ないという気もしましたが、中々経験できないもので、今となっては面白い経験だったと感じています。

4年生の後期にもなると講義もなく、ほとんどの学生が卒業論文に注力していました。私も例に漏れず卒論に取り組み、多くの先輩方のように力を尽くして

書き上げました。比喻でなく、書き上げる頃には満身創痍でした。面白いもので、常に心のどこかでプレッシャーを感じているのに卒論に取り組んでいる最中はとても楽しい気持ちでした。高校までにも締め切りのある提出物はありました（卒業論文と同列で語っていいかはわかりませんが）、今まで生きてきた間でこんなにも楽しさと苦しさが並立することはありませんでしたし、好きなことに対して努力することがこんなにも重く衝撃的な喜びだとは思ってもみませんでした！時間がかかるとしても大学院なりへ進学して、勉強を続けていきたいです。

2月にはサークルでも送別会を開いてもらい、多くの後輩たちと少しの先輩方が見送ってくれました。たくさんの温かい言葉を頂いて、後輩ができる年からずっと、どうやって関わるか悩み、試行錯誤しながら接してきた身としては嬉しさもひとしおです。4年間の大学生活は、決して楽しいばかりではありませんでした。辛いことや苦しいことも少なからずありましたし、悩んだことも数多くありました。しかし、それを補って余りあるほどの実りのある4年間でした。悩みがあれば、友人や目上の方々に相談できるようになりました。思い通りにならないことがあっても、それを楽しもうと思えるようになりました。努力ではどうにもならないこともあるけれども、悲観しなくてもいいことがわかりました。もがき続けた4年間でしたが、卒業して振り返ってみると、辛かったことこそが自分を成長させていました。辛いことや苦しいことがあったとしても、その状況に対応して自分を変えようとした努力が無駄になることはありませんでした。辛いことは必ずしも悪いことではなく、捉え方によっては自分を成長させられると知ったことは、人生の中でも指折りの財産となることと思います。

卒業したら段階を踏んで欧州の大学院に進むつもりでいましたが、コロナウイルス対策の影響で、渡航は制限されてしまいました。この機会にできるだけ自分を成長させておこうと思います。大学は卒業しても人生はまだ続きます。自分が欠点のある人間であることを忘れず、少しずつでも努力を続けていこうと思います。

19 期生

## 地域の保健活動を担う保健師を目指したい

### 関東の看護短期大学を卒業した女性

就職が決まった大学病院で基礎知識及び応用知識、技術を学び、地域で暮らす住民の方々へ看護を提供したいと考えている。その過程で多くの方と触れ合い、

医療の frontline を実際に知ることによってまた私の今後のキャリアアップの道は変わってくると考えている。現在の目標としては、知識、技術の会得後、保健師を目指したい。その理由として、昨年あった登戸無差別殺人事件が要因となっている。目の前で誰かが傷つけられるところや実際に自身を傷害されてしまうことは、老若男女関係なく心身に多大な影響を与えてしまう。医療の現場では主に身体に生じた傷病にしか関われない。もちろん心のケアも行っていくが、深く根付いた心の傷を見ていくには、その人との信頼関係を築き、時間をかけてケアをしていく必要がある。そのため地域の保健活動を担っている保健師となり、その人にあったその人らしい生活を送れるように支援したい。

実習では病棟の指導者と短大の実習担当教員との間に挟まれ、泣きながら帰ることもあった。何度も学校を辞めたいと思ったが、グループメンバーと意見を出し合い実習を乗り切ることができた。私は考えすぎると視野が狭くなってしまうため、友人の助言がとても有難かった。授業終わりには友人宅でお菓子の家を作ったことや試験後に駅前の期間限定パンケーキを食べに行ったことがあった。こういった当たり前だった日常を送れなくなってしまうことは悲しい。けれどこの思い出があるからこそ学生生活はとても充実していたと心から思える。また1度は単位を落とし留年の危機に陥ったが、支えてくれた友人がいたので挫折せず頑張って単位を取ることができた。私がこうして無事卒業できたのは短大の先生方や児童養護施設職員の陰ながらの支えがあったのはもちろんのこと、友人達の存在がとても大きい。今後の進路は分かれてしまうが、また会った時には笑いながら短大の思い出話をしたい。

私が思ったこととしては自分のやりたいようにやる方が1番上手くいくということです。このアドバイスもそうですが、誰かが上手くできたから自分も上手くいく保障はないです。むしろ自分で考えて取り組んだ方が、成功した時自分に自信が持てるようになると思います。誰かの成功例を参考にすることは必要だけれど、そのまま実践する必要はなくて「そういう方法もあるのだ」くらい柔軟に受け止めることも大事だと感じました。また、他人と比べないこともストレス対処法として重要だと思います。向上心は物事に打ち込むための原動力になるけれど、あり過ぎても重圧になってしまいます。私は上京した子たちと比べて生活も勉学も両立しなければと意気込みすぎて単位を1つ落としてしまいました。そこからは家事をする日、勉強する日、お休みする日を決め、勉強方法も周りに合わせたノートに書く方式からスマホのメモ機能を使い自分なりにまとめた資料を作成するようになりました。その後は勉強ができるようになり、下から3番目の成績から上から数える方が早い成績に変わりました。私が言えることとしては自分を基準に上を目指し過ぎず、楽しい学生生活を送ってほしいです。

## くじけそうになりながらも、友人に励まされ乗り越え

### 九州の看護専門学校を卒業した女性

3月12日に無事看護学校を卒業することができました。この3年間はとてもあっという間でした。

3年前、1人で県外へ出て、右も左も分からずとても不安だったことを思い出します。看護の勉強は今までの知識とは別に新しく覚えなければならないことがたくさんあり、おいていかれないようにすることで精一杯でした。また、実習では患者や教員とのコミュニケーションが中々上手にとれず、たくさんの壁にぶつかりました。途中で学校を辞めたいと何度もくじけそうになりました。しかし、周りの友達や実習のメンバーが悩みを聞いてくれたり、励ましてくれたりしこともあり、乗り越えることができました。

私が3年間の学校生活を経て成長できたと実感したことは、周囲の状況を把握し、優先順位を考えて行動に移すということです。これは、今後社会人になる上で、また看護師として働く上でも大切な能力となってくると思います。現状で満足せず、日々成長できるようにこれからも頑張りたいと思います。

私がこのような充実した3年間を送ることができたのは、周囲の人の支え、また読売新聞社様の支えなどがあったからだと思います。この気持ちを忘れず、支えてくださった方々に恩返しができるよう頑張ります。ありがとうございました。

## 看護師国家試験合格、喜びと達成感でいっぱい

### 関東の看護専門学校を卒業した女性

12月に全ての実習は終え、2月に看護師国家試験を受けました。試験までの期間は、仲の良い友人と放課後学校で勉強会をしたり、いくつか外部の講習会に参加したりして苦手分野の克服に努めました。ただ、模試で良い点が取れないこともあり、「もっと早くからコツコツ始めておけば良かった」と思うことが何度もありました。しかし、後悔していてもどうしようもないことだから、とにかく今やれることをやろうという意気込みで取り組みました。試験当日は周りの緊張感が伝わってきて、私自身も「大丈夫かな」という不安でいっぱいでした。試験中、分からない問題がでてくると焦る気持ちが募り、終了してからもなんだかすっきりしない気持ちでした。合格発表の日まで緊張が抜けませんでした。無事合格することができて、今は喜びと達成感でいっぱいです。

現在は、就職先の病院に近い場所に引越し、4月からの新生活に向けて着々と準備を進めているところです。看護師としての能力はまだ未熟です。これか

ら沢山の学びを吸収していき、一人前になれるよう頑張っていきたいと思います。3年間、ご支援ありがとうございました。これから看護師として、今度は自分が周りの人を支えられる存在になれるよう精進していきたいと思います。

20期生

## 学んだ英語力、貿易事務で生かしたい

### 関西の短大を卒業した女性

3月14日が卒業式開催予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となり、式典を楽しみにしていましたが残念です。私は2年間という短い学生生活の中で、アルバイトと勉学に励む日々でした。アルバイトでは人との繋がり、大学では学ぶことの楽しさを知ることができ、とても充実した2年間でした。私の人生で大切な時間を送ることができ、ここまで来られたのもたくさんの支えがあったからだと感謝しています。

私は4月から製薬会社の貿易事務として働きます。航空会社のグランドスタッフを目指して英語を中心に頑張りましたが、現実には厳しく就職活動はとても苦戦しました。その中で自分の活かせる職業は何かということを考え、貿易事務を選択し、無事内定をいただいたときは、この会社で一所懸命頑張ることを心に誓いました。今、この製薬会社で週5日インターンシップとしてアルバイト勤務をしています。午前8時からの掃除に始まり、お茶出し、事務処理など覚えることばかりで1日があっという間に過ぎてしまいます。大変ですが、他の方より一足早く会社のことを知ることで、4月からの社会人としてのスタートがスムーズにいきそうです。毎朝早くから慣れない仕事に向き合い、学生時代とは違った緊張感がありますが、私はこの会社が大好きです。

2年間ご支援していただきありがとうございました。これから私は、人との繋がりを大切にしながら、誰にでも心から寄り添える人間として成長していけるよう自分磨きに励みたいと思います。2年前、奨学生募集で書いた作文同様、未来のことを考えるとワクワクした幸せな気持ちをこれからもずっと持ち続けていきたいです。

## スポーツリーダーの資格、生かした仕事目指したい

### 東京の体育短大を卒業した女性

3月20日、卒業し、スポーツリーダーという資格をとりました。約2年間の大学生活を終わりましたが、まだ卒業した実感が湧きません。周りの友達にも恵

まれ、とても充実した生活を送れました。学習の方も何回か、つまりいた時もありましたが、先生や友達と協力し合ってもらい乗り越えられました。

2年間だけでも学んだことは沢山あります。その学んだことをこれから社会人になってからも行かせる様に生活していきたいです。奨学生のこれからの後輩にアドバイスとしては、勉強は絶対怠ってはいけないということを第一に言いたいです。大学は高校と違い、大体が自分次第なので少しでも勉強を怠ると取り返しのつかない結果にすぐになってしまうということです。大学は単位が全てと言っても過言ではないので、1年からしっかり勉強して単位を多く取った方がいいと思います。

今後の進路は未定なので、いい就職先を頑張って探します。郡司ひさゑ奨学基金のおかげで、とてもいい生活を送れました。これからも大人、社会人として立派な大人になります。

## 取得した視覚 13 個も 充実の 2 年間

### 九州の県立農業大学校を卒業した男性

3月12日、無事に卒業することができました。学生生活を振り返ってみると農業大学校の生活は、午前4時から当番が多いし、台風などの自然災害や夜中の牛の分娩後でも朝当番もあり授業もありとても大変でしたが、その分、知識と技術が身に付きさらに資格も取れ、少々の辛いことにもへこたれないメンタル面も身に着けることができました。しかし、大変だったことだけではなく、楽しかったこともたくさんありました。農大祭では、加工品の販売こと、日々の牛の一般管理や家畜市場や農場視察や友達と過ごした寮生活、とても楽しかったことをよく覚えています。

資格だけで13個ぐらい農大で取りました、普通車免許・大型特殊（農耕用）・けん引（農耕用）・小型車両系建設機械・車両系建設機械・ガス溶接・家畜商講習会修了書・ボイラー取扱技能講習・農業技術検定3級・家畜人工授精師（牛）を取りました農大で知識と技術だけではなく経験も積めたと思いますとっても大変で充実した2年でした。最後になりましたが読売・光と愛の事業団様ご支援のおかげで、4月からは、地元JAで働くことになっています。学校での学んだことを生かして頑張っていこうと思います。大変ありがとうございました。

## 夢だったアニメーターの仕事につけた

### 関西のアニメーション専門学校を卒業した女性

私の夢はアニメーターになることです。その夢をかなえるため、2年前の4月

2日に関西にあるアニメーションの専門学校に入学しました。この学校で様々なアニメーション関係のことを学びました。

1年生では前期でアニメーションの基礎を学び、後期でそれらを踏まえて高野山PRアニメーションを作りました。2年生では初めての1人暮らし、就職活動、卒業制作と色々あった年でした。1人暮らしは問題なかったのですが就職活動、卒業制作でいろいろと問題がありました。

就職活動では夏休みを明けても就職先が決まらず焦っていました。ですが、10月に応募した会社の書類審査が通りました。10月28日に面接と実技試験を受けてきました。手応えはあまり感じられず落ちたかなと思っていました。11月6日に結果が届きました。結果は、採用でした。まさか採用されるとは思わなかったのですごく嬉しかったです。

卒業制作は10月で、クラスで作っていた卒業制作も続行不可能となり解散になりました。解散した後は、個人制作かグループ制作かを決め新たに作るようになりました。私は個人制作を選びました。残り4か月と短い時間での制作だったため、難航しましたが無事作り終えることができました。

そして、3月10日、新型コロナウイルスが流行っている中、卒業生のみで式が行われました。卒業式をできない人がいる中、学生生活を最後まで締められることができよかったです。今まで本当にありがとうございました。これから自分が携わったアニメーション作品を見てくれるみんなに楽しんでもらえるよう、頑張っていきたいです。

## 夢だったシステムエンジニアの仕事に

### 東北のコンピュータ専門学校を卒業した男性

システム・ネットワークコースを無事に卒業しました。2年間という短い間でしたが、自分の夢であったシステムエンジニアになる為の技術や知識を蓄えることができました。

4月からは、人材サービス会社に就職することになり、そこでシステムオペレーターというシステム運用の仕事に就くことになりました。業務内容は2交替制のシフトで組まれているのですが、夜勤が月に4回ほどあると聞くので、体調を崩さないようにして頑張りたいと思います。

この2年間の学生生活は本当にいろいろあったと思います。初めての1人暮らしは、お金などの管理や、料理を覚えたり、掃除をしたりすることの多さに、最初は大変だったのですが、だんだんと覚えていき楽しかったです。入学当初は、知らない場所で友人ができるのか不安だったのですが、優しい人ばかりですぐに仲良くなることができました。その時に仲良くなった人たちと、運転免許の合

宿、夏にはBBQ、冬には鍋などといった様々な出来事があり、いい日々を過ごすことができました。

これから初めての仕事の為、緊張しています。現在研修を行なっていて、学生気分がだんだんと抜けてきていると感じています。

学生生活に関しては後悔していませんが、もう少しお金の使い方を考えればよかったと思います。アルバイトで稼いだお金を貯金せずに、毎月の支払いや食費を考えずに使っていました。給料を貰ったら、お金の使い方を考えて生活をしていきたいです。これから一人暮らしをする人や就学をする人は、学生生活を後悔しないようにして、お金の使い方を考えて楽しんでほしいと思います。

※11人のうち、山形大学を卒業した女性からは期日までに報告が届きませんでした。また、卒論が通らず、留年した男子学生が1人出てしまいました。